

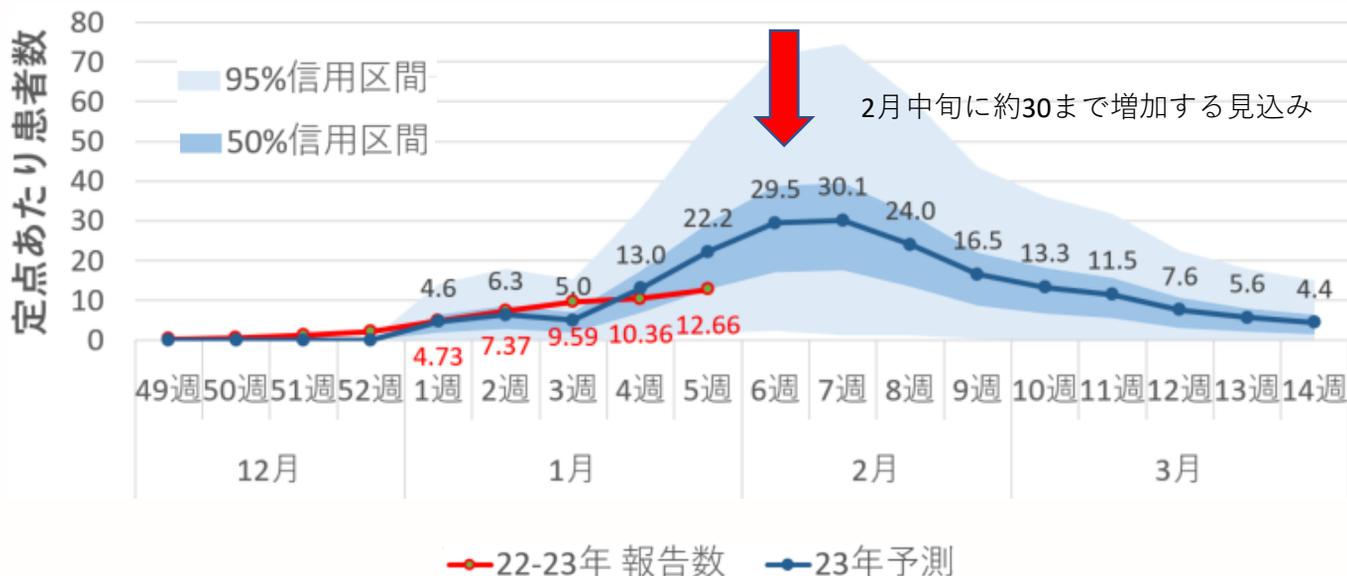
インフルエンザ流行状況について

年末からインフルエンザが約3年ぶりに全国的に流行入りし、2月3日には全国的にインフルエンザの流行が「注意報」水準になったと発表されています。インフルエンザに関する情報についてお知らせします。

■日本の今シーズンの流行予測

カナダBlueDot社が開発した統計モデルによると、2023年1月以降の感染拡大のピークは2月中旬と推定されます。1つの医療機関が1週間で何名のインフルエンザの患者を診療したかを表す定点当たりの報告数に換算すると、約30まで増加する見込みです。

2012年から2019年までの約8年間のデータ（ソース：国立感染症研究所 感染症発生動向調査）及び、2022年9月から12月までの今シーズンの最新データを学習することで各週の確率分布を推定し、2023年1月以降の推定を行った結果が以下のグラフに示されています。



■インフルエンザの動向

過去2シーズンは、インフルエンザの感染は少なく流行入りとはなりません。大きな理由の一つとして、新型コロナウイルス感染症の流行によるマスクの着用や手指衛生の徹底などの生活習慣の変化が考えられます。もう一つ大きな理由としては、人の移動が大きく関係しています。過去2シーズンはコロナにより人流がストップし、ウイルスが国外から持ち込まれる機会がなかったことも考えられます。また、今シーズンは感受性のある人が極めて多いことが挙げられます。この2シーズン、インフルエンザに感染しなかった人が非常に多く、今シーズンは感染する可能性が高いということです。

1つの医療機関が1週間で何名のインフルエンザの患者を診療したかを表す定点あたりの報告数では、第5週(1/30 - 2/5)の定点あたり報告数*は12.66（報告数 62,583）となり、2週連続して注意レベルの10を越えています。また1月からの感染者は下のグラフからもわかるように急増しています。



※定点あたり報告数は、全国約5,000の定点医療機関から報告を受けているもので、このうち「1つの医療機関が1週間で何名のインフルエンザの患者を診療したか」を表します。定点あたり報告数が1を超えると、その地域では流行期に入ったと考えられます。

データソース：国立感染症研究所IDWR速報データ (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/data.html>)

■全国の休校・学年閉鎖・学級閉鎖の累計数

2023年第5週(1/30 - 2/5)までに、全国の保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における休校・学年閉鎖・学級閉鎖の累計数は5,262（前週比：+2,184）となり、感染が急拡大しています。



データソース：インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）
(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>)

■インフルエンザワクチン接種はなぜ大切？

インフルエンザは38°C以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛、全身の倦怠感などに加え、喉の痛み、鼻汁、咳などの症状がみられますが、通常は発症して数日間で回復します。しかしながら一定の頻度で症状が重くなり、インフルエンザ脳症や心筋炎、肺炎などの合併症をきたすことがあるのです。インフルエンザの問題は、昨日まで普通に元気だった健康なお子さんでも重症化が起これる可能性があります。

■インフルエンザはVPDです

VPDとはワクチンで防げる病気のことです。インフルエンザは、インフルエンザウイルスによっておこる呼吸器の感染症で、主に冬に流行するVPDです。

Vaccine=ワクチン Preventable=防げる Diseases=病気

関連リンク：KMバイオロジクス（株）サイト「重症化しやすい人に、インフルエンザをうつさない！」<https://www.kmbiologics.com/influenza/>

■参考文献

BlueDot社について

2013年に創業したBlueDot社は、独自の感染症モニタリングプラットフォームを通じて、感染症の発生を検出、拡大リスクの評価、拡大防止対策を行うための洞察を、世界の業界のリーダーに提供しています。BlueDot社のプラットフォームは、人間の知見と人工知能を組み合わせ、世界中の150以上の感染症と症候群を65種類の言語で追跡し、世界的な広がりや影響を予測します。詳細は同社HPをご参照ください。<https://bluedot.global/>

今までの当社とBlue Dot社との取り組み

https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/pressrelease/2021/detail/pdf/211207_01.pdf

https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/pressrelease/2022/detail/221116_01.html

・厚生労働省 インフルエンザ脳症研究班 「インフルエンザ脳症ガイドライン【改訂版】」
<https://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/hourei/2009/09/dl/info0925-01.pdf>

・厚生労働省インフルエンザQ&A
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

・厚生労働省新型コロナワクチンQ&A
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0037.html>